

物質の科学演習

科目責任者 奥田 竜也

学年・学期 1 学年・1, 2 学期

I. 前 文

第1学年1, 2学期に開講される必修科目の「物質の科学」では, 3学期以降に開講される基礎医学科目の「生理学」や「生化学」等の内容に繋がる物理化学の基礎を学びます。高校課程での物理の履修が十分でない, 或いは, 物理に自信がない学生にとってはやや難解な内容となるため, 進度に合わせた演習等によって内容の理解を深めると共に, 学習方法を学ぶ機会とします。

II. 受講可能人数

特に制限は設けないので, 積極的に履修してほしい。

III. 担当教員

奥田 竜也【基盤教育部門】

IV. 学習内容

- ・「物質の科学」の補講的な位置づけの科目であるため, 「物質の科学」の授業および事前学習などで理解しきれなかった部分の解説や授業の進度に合わせた演習などを行います。
- ・「物質の科学」授業を繰り返し行うわけではないため, 疑問点や理解できなかった点などを予め明確にしたうえで臨むことを求めます。
- ・放課後の空きコマを使用して実施することにはしていますが, 具体的なスケジュールについては受講生と相談のうえ決定します(1, 2学期それぞれ7コマ程度を予定)。

V. 学習の到達目標

- ・「物質の科学」の理解を深める。
- ・疑問点を先送りしない学修習慣を身につける。

VI. 成績評価の方法・基準

出席状況, 受講態度, および簡単な確認問題等によって評価します。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

基本的に「物質の科学」で使っている教科書, 授業中の配付資料を教材として用います。必要に応じて追加資料の配付も行います。

VIII. 質問への対応方法

随時対応しますが, 事前にメール等でアポイントメントを取ってもらう方がより確実です(メールアドレスは別途お知らせします)。原則として平日の午前9時~午後5時の対応とします。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	○
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	◎
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題などに対しては、まず全体向けに講評を行い、必要に応じて個別にフィードバックを行います。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習として直近の物質の科学の授業内容を15分程度で見直し、疑問点を明確にしておくこと。本科目の事後学習が必要無くなるよう各授業内で解決するつもりで取り組んでください。

XII. コアカリ記号・番号

A-2-1), A-2-2), A-9-1), C-2-1) - (1), C-2-5), D-8-1), D-8-3) - (2), F-2-11)